

地域で暮らし続ける

～ 後川内「語るう会」の報告 ～



後川内「語るう会」とは？

「後川内で暮らし続けたい」を叶えるために、後川内小学校区(上後川内地区、下後川内地区、川平地区)の住民で現在の困りごとや課題を話し合い、改善できそうな取組について考えるものです。10～2月にかけて全5回行いました。



『語るう会』の様子

第1回

令和6年10月16日
下後川内多目的集会施設

現状や将来人口予測を知って、困り事・心配事、今後の課題について意見を出し合いました。



第2回

令和6年11月12日
後川内小学校体育館

他地区の事例を参考に、課題解決に向けてまず着手したい取組のアイデアを出し合いました。

第3・4回

令和6年12月13日 上後川内地区多目的活動施設
令和7年1月17日 下後川内多目的集会施設

第2回の取組アイデアについて話し合い、5つ全て検討を進めることに決めました。また、5つの取組アイデアごとに、住民で取り組めること、行政に支援してほしいことを考えました。

第5回

令和7年2月18日
上後川内地区多目的活動施設

「語るう会」終了後も課題解決に向けて取り組むために、どのように話し合いを続けていくか考えました。

まずは、「後川内まちづくり準備委員会(仮)」として令和7年度に課題解決や今後の体制づくりに取り組むことにしました。



後川内地区の「5つの課題」と「取組アイデア」

Mission
01

地区の奉仕活動の実施方法の見直し

- ・奉仕活動の実施にあたって、機械を導入する。
- ・地区住民だけで地区内の奉仕作業を行うことが難しい場合、町全体で実施する仕組みを検討する。
- ・町外の都市住民と関係構築をし、外部人材に手伝ってもらう方法を検討する。

Mission
02

地区役員の役割の見直しと移住者の班や区への勧誘

- ・文書配布の負担軽減のため、営農班と区の班の区分けについて農協と協議する。
- ・区費、班費の集金の負担軽減のため、集金の仕組みの見直しを行う。
- ・区や班の統合について、各班で話し合いを行う。

Mission
03

地域ボランティアによる移動支援

- ・まちづくり協議会のような組織を設立し、移動支援、買い物支援について考える部門をつくる。
- ・移動支援、買い物代行、移動販売などについて、住民のニーズをアンケート調査する。

Mission
04

小中学校の建物・グラウンドの活用方法

【方針】既存施設(建物、グラウンド)は可能な限り活用したい。住民で自主的に運営するか、民間を入れるかは検討が必要。

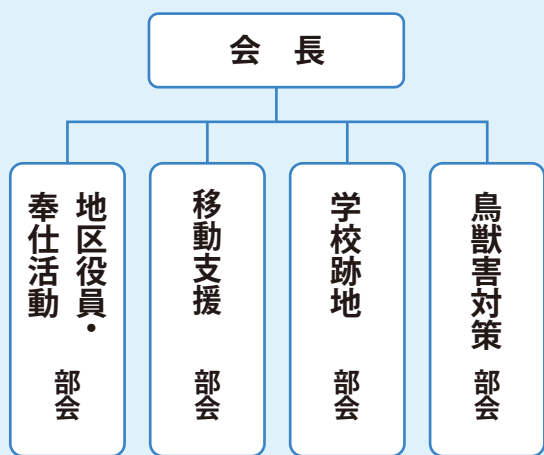
【アイデアの例】合宿運営、研修講習施設として貸出、牧場、植物工場、養殖場、こどもの自然体験型施設、避難所の確保、地域の健康増進のために体育館を残す など

Mission
05

鳥獣害対策としてのワナの設置

- ・3地区の有志メンバーを組織化し、そのメンバーが狩猟免許を取得する。
- ・防護柵の設置や、ワナの購入などを行う。
- ・獣を出現させないための、収穫後の残渣物の処理などの講習を実施する。

後川内まちづくり準備委員会（仮）の体制



【お問い合わせ先】 総合政策課 ☎ 42 - 2 1 1 5

今後の取組の方針

令和

6年度

全5回の「語ろう会」で、後川内地区の課題と今後の取組について考えました。

令和

7年度

後川内まちづくり準備委員会（仮）で課題解決の取組に着手します。また、今後の組織化に向けた取組内容や体制について検討します。

令和

8年度

新しい体制のもと、国の交付金等を活用しながら地域に密着した取組を行います。